

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	産業振興課		
	係名	観光係		
	記入者		電話(内線)	218

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	フィルムコミッション推進事業	(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	34301 (総合計画掲載 ^ハ - ^ジ 97 ^ハ - ^ジ)	会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	3 歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)	財源区分	市単独		
基本施策	4 地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)	予算科目	款 7	項 1	目 5
施策	フィルムコミッションの推進	予算書上の 事業名称	フィルムコミッション事業 (予算書 131 ^ハ - ^ジ に掲載)		
施策内容	フィルムコミッション推進	(8) 事務分類	自治事務		
(5) 事業期間	開始 平成 18 年 4 月から 終了 年 月まで (カ年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	一般市民及び映像制作会社	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	<p>【受入体制の強化】PR活動の実施。HPの充実を図る。</p> <p>【映像製作の補助】問合せに対する情報提供。撮影時の関係機関・関係者の手配及び帯同。撮影を円滑にするため各種調整。</p> <p>【事業成果の広報】撮影実績の公表。撮影成果物の取得、展示。</p>
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	<p>【一般市民】登録エキストラ及びロケ協力施設登録を増やし、市民の参加作品を増やすことで、郷土愛を深める。</p> <p>【映像制作会社】本市のロケ受入体制や地域資源をPRし、撮影に関する問合せ及び誘致を増やすことで、本市の知名度やイメージの向上、観光客の増加、地域経済への寄与等を図る。</p>	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	茨城県では、平成27年4月1日現在「いばらきフィルムコミッション等協議会」を県内28市町村のフィルムコミッションや団体で形成しており、各団体間の連携強化、情報共有を目的としている。

(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	<p>【事業をとりまく環境の変化】 問い合わせ自体は多々あるが、撮影にいたるものはなかなかない。昨年度10件の撮影支援を行い、当市の紹介をテーマに扱った番組が7件撮影されたが、まだまだ数は少なく当市の魅力を十分に発信できたとは言えない。</p> <p>【対応】 外部には、専用HPを活用し事業活動を報告している。また、できる限り撮影を受け入れ、撮影支援を行う。</p>
---	--

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映			
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度 29 年度 30 年度			
事業費	事業内容					
(1) 事務事業費の コスト	需用費	24	26			
	合計	24	26			
	国庫支出金 (千円)					
	県支出金 (千円)					
	地方債 (千円)					
	その他特定財源 (千円)					
	一般財源 (千円)	24	26			
	合計 (千円)	24	26			
	補助・起債制度名					

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	活動件数(照会に対し、施設を紹介した件数)	目標値					
		実績(見込)値	23				
		目標値					
		実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	誘致件数(施設を紹介した件数のうち、実際に撮影が行われた件数)	目標値		30	30	30	30
		実績(見込)値	10				
		達成率	33.3%	0.0%			
		目標値					
		実績(見込)値					
	達成率	%	%				

5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	B	どちらとも言えない	・撮影に繋がる可能性が決して高くないが、番組の内容によっては本市にとって良いPRの機会になる
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	・民間施設に関しては、介入しなくてもよいと思われるが、市の公共施設をロケーションとして希望する相談も多いので、行政の関わりも必要である
	手段の妥当性	A	妥当である	・人員、業務内容を考えれば、専用HPにてロケーション紹介という今のやり方が妥当である
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	・低費用で市への効果は大きいといえる
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	・ロケ地を希望するのは、制作会社であるため
有効性	成果の向上	C	成果の向上は見られない	・撮影件数は前年と比べ3件減少し、経済効果も昨年度より得られなかったが、
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	・総合計画に掲げた数値にはまだまだ足りないが、当市の知名度及びイメージアップの観点で考えれば、前進しているといえる

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

・必ずしも紹介したロケ地で撮影するわけではないので、連絡調整に時間をかけてもそれが成果に繋がらないことが多い
 ・撮影時には職員の帯同が必要であり、長時間の撮影となると他の業務の運営・進行に影響してくる。特に、夏や秋のイベントシーズンと撮影が重なると職員の負担が重くなる

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

行政が関与する(すべき)業務・範囲の明文化や、行政財産使用に関する規約の策定などを明確にし、業務の適正化及び効率化を図っていく。これからは、撮影誘致の推進とともに、市民へ撮影実績をフィードバックしていくなど広報活動に力を入れていく。また、当市のPR効果が高いと思われる企画により力を入れ誘致していくことを目指す。

6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	当市で多くの撮影ができる様、誘致活動を推進していき、撮影件数を増やすことにより、結城市の知名度が上がるとともにPRにもなる。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。